

令和3年度 群馬県中学校春季大会 第45回柔道大会要項

1. 主催 群馬県中学校体育連盟 群馬県教育委員会 太田市教育委員会 群馬県中学校長会
2. 後援 群馬県市町村教育委員会連絡協議会 (公財) 群馬県スポーツ協会
群馬県柔道連盟 上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA
3. 会期 令和3年6月12日(土) 8:30 集合 (受付、計量、審判・監督会議)
10:00 開会式、団体戦 ※検査は10:00まで
6月13日(日) 8:30 集合 (受付、計量、審判・監督会議)
10:00 開会行事、個人戦 ※計量・検査は10:00まで
16:00 閉会式 (予定)
4. 会場 太田市武道館柔道場 (太田市内ヶ島町384-2) 電話 0276-45-8118
5. 参加資格 (1) 群馬県中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該校校長の参加許可を得た生徒であること。
(2) 各郡市中中学校体育連盟の予選を通過した生徒、もしくは当該競技部で推薦された生徒であること。
(3) 参加資格の特例：学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、群馬県中学校体育連盟が参加を認め、所在する郡市中中学校体育連盟の予選大会を経て、参加資格を得た生徒であること。
6. 参加費 参加生徒1名につき、300円の参加費をプログラム編成会議時に徴収する。
ただし、団体、個人に重複する生徒については1名分とする。
なお、参加費とは別に医師派遣にかかる特別救護費を受益者負担とし参加生徒1名につき200円を徴収する。
7. 監督・引率 (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
(2) 監督の条件等は、県中体連「運動部活動顧問等の指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する対応」による。
8. 外部コーチ (1) 当該学校の学校長が認めた外部コーチがいる場合は、ベンチに入ることができる。(1名)
(2) コーチの申請は、県中体連外部指導者ベンチ入り規程による。
(3) 全日本柔道連盟が認定する指導者資格を有するものとする。
(4) 規程を遵守し、規則違反、不適切な言動があったときは、不適格者として資格を取り消すこともある。
9. 参加制限
男子団体戦 (1) 参加は24校とし、中体連競技部事前調査により県大会出場校数を決定する。
(2) 1チームは監督1名、コーチ1名(コーチとは外部コーチ及び副顧問)、選手5名、補員2名とする。
(3) 編成は体重が最も重いものを大将とし、以下順次体重順におこなう。選手が5名に満たない場合にも同様におこない欠員をおいてはならない。
(4) 補員の充当により抜けた選手は、以後の今大会の団体戦には再び出場出来ない。
女子団体戦 (1) 参加は24校とし、中体連競技部事前調査により県大会出場校数を決定する。
(2) 1チームは監督1名、コーチ1名、選手3名、補員1名とする。
(3) 編成は男子と同様とする。
(4) 補員の充当は男子と同様とする。
男女個人戦 (1) 男子階級は、50kg(50kg以下)、55kg(50kg超55kg以下)、60kg(55kg超60kg以下)、66kg(60kg超66kg以下)、73kg(66kg超73kg以下)、81kg(73kg超81kg以下)、90kg(81kg超90kg以下)、90kg超の8階級とする。
(2) 女子階級は、40kg級(40kg以下)、44kg(40kg超44kg以下)、48kg(44kg超48kg以下)、52kg(48kg超52kg以下)、57kg(52kg超57kg以下)、63kg(57kg超63kg以下)、70kg(63kg超70kg以下)、70kg超の8階級とする。
(3) 各階級は、推薦出場者(強化部より)を除き、各地区中体連より階級ごとに1名が出場出来る。
※男女個人戦において、男子は各階級16名、女子は各階級8名の出場者数につき地区の代表者数を1名追加とする。
10. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)および国内における「少年大会特別規定」、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、「県中体連柔道部申し合せ事項」によって行う。
11. 競技方法
団体戦 (1) 参加チームを1組3チームのリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2チーム、16チームによるトーナメント戦を行う。

- (2) 優勢勝ちの判定基準は「技有」または「指導」差が2あったときとし、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「指導」差が2あった場合、「指導」の少ない選手を勝ちとする際の名称を「僅差」勝ちとする。
- (3) リーグ戦におけるチーム間の勝敗は、次の順により決定する。
 (ア) 勝ち数による。
 (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有による勝ち」の数による。
 (エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。
- (4) リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。
 (ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 (イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。
 (ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。
 (エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。
 (オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。
 (カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。
- (5) トーナメント戦におけるチーム間の勝敗は、次の順によって決定する。
 (ア) 勝ち数による。
 (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有による勝ち」の数による。
 (エ) (ウ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。
- (1) 各階級別にトーナメント戦を行う。
- (2) 優勢勝ちの判定基準は「技有」または「指導」差が2以上あったときとし、本戦で同等の場合は時間無制限のゴールデンスコア方式によって必ず勝敗を決定する。

個人戦

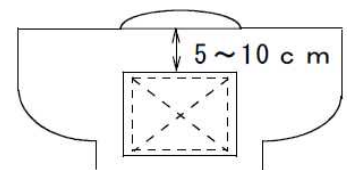
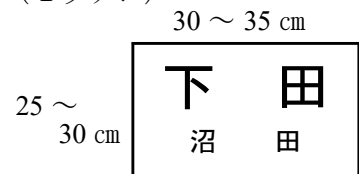
12. 代表者会議 令和3年 5月25日(火) 午後2:00 会場:玉村中学校

13. 参加申し込み 代表者会議までに所定の申込書を提出して申し込む。
 (詳細は、各地区委員長へ配布の申し込み要領による。)

14. 表彰 (1) 団体戦 優勝チーム以下3位までの4チームに賞状を授与する。
 (2) 個人戦 体重別に優勝者以下3位までの4名に賞状を授与する。

15. その他 (1) 団体戦の対戦用のメンバー表は、運営側で用意する。(ゼッケン)

- (2) 選手は規定のゼッケンを付ける。
 (ゼッケンのない者は出場出来ない。)
- (3) 選手の柔道衣は、白色とし、全柔連認証柔道衣とする。ただし、帯についてはその限りではない。
- (4) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしてはいけない。
- (5) 監督・コーチは審判員に準じた服装をし、所定の場所に位置する。
- (6) 選手・監督・コーチはもちろんのこと、応援者においても、大会運営の妨げになるような言動は慎む。試合会場内には役員・係員・選手等認められた者以外は入場できない。
- (7) やむを得ない理由で大会前に選手が出場出来なくなった場合の選手変更は、選手変更願を提出する。
- (8) 男女団体戦の上位4校には、本年度総合体育大会への学校シード、ベスト8校の地域には出場枠を与える。また男女個人戦の各階級3位以内入賞者には、総体への推薦出場の権利を与える。
- (9) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
 ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。



※対角線にも強い白糸で縫いつける。

16. 連絡先 〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1801番地1
 沼田市立沼田中学校 下田 勝己
 TEL 0278-23-1116 / FAX 0278-22-9856